

俺の現場!

プロロジスパーク盛岡 プロジェクト工事

工事を無事に完遂させるべく、知恵と技術を総動員して奮闘する現場の姿をお届けするこのコーナー。今号では東北最大級の物流施設建設に携わる成ヶ澤さんのお話をご紹介します。現在順調に工程を歩んでいるこの現場。成ヶ澤さんが思うその理由とは?ぜひご覧ください!

盛岡事業所 型枠工

N.Y さん

プロロジスパーク盛岡プロジェクト工事

場所 岩手県紫波郡矢巾町

人数 多田工務店 12～13名



現場の特色

今回の現場は東北エリア最大級となるマルチテナント型物流施設「プロロジスパーク盛岡」の工事です。延床面積は99592㎡。物流倉庫の工事経験は何度かありますが、その中でも大きな規模。ただ作業的には過去に経験してきた現場と大きく変わらないため、これまでの経験を活かして日々取り組んでいます。

私は2022年7月から現場に入り、現在鉄骨を建てるための基礎工事をしています。基礎工事は9工区に分かれており、すでに最後の工区の作業となりました。斜面が多い現場のため今後どのようなようになるかはわかりませんが、現在に至るまでは大変順調に進んでいます。この基礎工事が終わると一区切りとなり、一旦引き上げた後、おそらく来年春頃まで続く後工事の作業に入ります。

多発した台風

今年の台風の影響はすさまじく、現場は水没して泥だらけになり大変な思いをしました。そのたびに元請けの方に泥の掃除をしていただき、人員も5人増やしたことでなんとか工期には影響なく進めて来られました。状況に合わせて他の現場から応援に来ていただけることは大変ありがたいと思います。順調に進んでいるのは皆さんの協力があったからこそです。

さて、この現場では、同じ盛岡営業所で私の先輩であるOさんとKさんが工事のスタート当初から共に作業に

あたっています。広い現場を割り振り、それぞれがリーダーとなってチームの皆さんに指示出し等をしながら各持ち場の人員配置の最適化をはかってきました。何事においても欠かせないのは「人の力」。あらゆる場面で「協力」の大切さを感じています。

休憩は欠かせない要素

今年の夏はとりわけ暑かったため、他の業者では熱中症になってしまう方も見受けられました。当社では熱中症対策として皆さんの休憩時間をずらし、こまめに休憩を取るようしつこくいくらいに呼びかけていたせいもあってか、幸いにも当社からの熱中症患者はゼロ。作業に遅れがあるという休憩をおろそかにしがちですが、現場作業は「動いてなんぼ」です。さらに安全のためにも、休憩は欠かすことのできない大切な要素ではないでしょうか。

安全第一

何よりも皆さんの安全が一番。広い現場の中持ち場が散らばっているため、私は必ず歩き回って実際に皆さんの様子を目で見て、危険を感じる事があれば声をかけるように心がけています。今後も安全を第一に、共に協力しながら頑張っていきたいと思います。



TK plus

vol.25

2022年10月25日発行